

落ち葉が多くなりました。寒くなりましたが、お元気でしょうか？先月号の「食事の大切さ」の中で、1日60gの蛋白質をと書きましたが、女性は50g位でも良いそうです。訂正します。

平和の集い

～ 我孫子から平和を願う ～

今年も市の平和推進事業として8月に広島に派遣された中学生による派遣報告会が開かれます。12月3日(日)(裏面にチラシをコピー)

この他に、関連して下記の事業が行なわれますので、ご参加ください。

アビシルベにて 11月28日午後～12月3日

- ・中学生派遣事業(写真パネルなど)
- ・リレー講座の紹介(授業用スライドなど)
- ・市内の平和のシンボル紹介(記念碑など)
- ・中央学院大学平和学の紹介パネル
- ・柏麦わらぼうしの会の紹介パネル

ギャラリー2

- ・被爆者の会から寄贈を受けた原爆投下直後の写真など

せっけん講座から

10月29日に長谷川治さんの講座を開きました。理論をいくつかの実験で裏づけしていただき、やっぱり「せっけんだね!!」を広めたいと思いました。栗原洋子さんが早速ブログに報告してくれましたので、転載させていただきます。

①洗濯後につく白い粉の正体？

大分前から、洗濯ものに白い粉が付着していて、室内に干す時などははたき落とした粉で床が真っ白になっていました。

何が原因かと分からず、洗剤を変えて見たり

しても変わらず、これは洗濯機の問題かと考えていました。講師の話で目から鱗でした。

液体せっけんにお酢を入れて攪拌したら、お箸にもろもろとクリーム状の物質が付着してきました。これは食用せっけんといって、私たちはせっけんかすと言っていました。

私は家族の健康のためと、手賀沼の汚染を少しでも少なくするため、40年前からせっけん生活を続けています。ですが、洗濯物の粉は以前はありませんでした。なぜせっけんから粉ができるようになったのか？犯人は汗っかきの夫(多分)でした。

前から汗の多い人でしたが、この数年ジムに通うようになり、サウナにも入るので、帰宅後の汗は半端ではなく、一回着替えたくらいでは治まらず、洗濯量もグンと増えました。

汗には乳酸が含まれているので、せっけんとは反応してせっけんかすができるのでした。

汗をかいた衣類は一度水洗いをしてからせっけんをいれると良いと教えてもらいました。

また台所せっけんを使う際も、酢がついた食器は紙またはボロ布でふいてから石鹼液で洗うとさっぱりすることも。

②豊洲市場のベンゼンはどこから？

昨今ベンゼンといえば、豊洲市場の地下水からの量がちっとも減らないという話です。

てっきり、以前の東京ガスが、生成の段階でできたコールタールが地下に浸みっていたのが原因かと思っていたのですが、実はもう一つ別の理由があったのでした。

この場所の埋め立てに使われた土は新宿区の百人町から運んだものだそうです。なぜ百人町

の土を運ばなくてはならなかったのか？

それは戦前、この場所には陸軍の毒ガス研究所があって、戦後、都営住宅を建てることになった際、汚染されていたことが分かり、汚染土を豊洲の埋め立てに持って行ったのだそうです。東京ガスはもちろん知っていたので、豊洲に市場をという話には賛成していなかったそうですが、時の石原知事の決定で決まってしまったそうです。

石原元知事は自動車の排気ガス規制に熱心で、ある記者会見で真っ黒なコーラルの入った瓶をみせ、これがガソリンの中に含まれていると大見得を切ったシーンが思い出されますが、豊洲のベンゼンには気がつかなかったとでも・・・？

このベンゼンが基本になっているのが、合成洗剤なのです。

科学式の亀の子に詳しくないので、うまくお伝えできないのですが、ほとんどの合成洗剤は「アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム」が含まれているとのこと。

PRTR法（後日説明）で指定された有害化学物質のなかの第一位に指定されています。（直鎖アルキルベンゼンだスルホン酸及びその塩）

こんな嫌なものを毎日、子どもの衣類の洗濯には使いたくないですよ。続く。（栗原洋子）

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

せっけんは「高い」とか「使いにくい」と言われますが、合成洗剤の本当のことを知ったら怖くて使えないでしょう。

せっけんは「黄ばむ」と言われますが、酸素系漂白剤で白くなります。合成洗剤はさすがに1回でも良いとも言われますが、その分有害物質が落ちないで、肌荒れやアトピーの原因にもなります。環境にも安心な「せっけん」を使いましょう。

12月定例会

日時 12月4日（月）13:30～16:00
場所 我孫子南近隣センター8F第一会議室
定例勉強会 消費生活展の中身について

30年1月定例会

日時 1月9日（火）11:00～16:00
場所 我孫子南近隣センター 8F 調理室
新年会費 1人500円

市民のチカラまつり

日時 11月25日（土）26日（日）
場所 けやきプラザの各部屋を使います

今年も市民活動団体の紹介、参加を願って、催しが開かれます。この中で、消費者の会は、参加企画「認知症でも安心して暮らせる地域を作ろう（認知症って知ってる？～知ることが予防の一步～）」という講座を開きます。

参加企画の講座

日時 11月26日（日）10:00～11:30

場所 けやきプラザ7階研修室

先着 60名（無料）

活動紹介コーナー

11月25日（土）11:00～26日（日）15:00
けやきプラザ 2階 ホール

こちらは2日間、ホールの中で、7番のブースにいます。認知症の簡単なテストをしていただき、パンフレット等を配布します。是非お立ち寄りください。

県民提案事業始まる

平成29年度「消費生活の安定及び向上に向けた県民提案事業」が、11月10日の湖北中学校から始まりました。千葉県を担当者が見に来てとてもよくやっていると評価してくれて、29日の布佐中学には、課長と担当者が来るということになりました。

中学生には見守りふくろうさんのストラップ付きを渡しています。会員の方々が300以上を作ってくださいました。心から感謝しています。

× × × × ×

大地震対策の「感電ブレーカー」のチラシも配布します。

地球温暖化の影響を忘れず、少ない電力で温まる工夫を！！
お元気でお過ごしください。

